



# あすなろだより

2013年11月30日

発行 三重県立<sup>こども</sup>小児心療センター あすなろ学園 広報担当  
〒514 0818 三重県津市城山1 12 3 TEL.059 234 8700 FAX. 059 234 9361  
MAIL: asunaro@pref.mie.jp URL: http://www.pref.mie.lg.jp/ASUNARO/HP/



## 今年も行ってきました！ キャンプ報告！



今年も、治療キャンプに行ってきました。当園では入院治療の一環として子どもの発達に見合ったあそびを取り入れた活動を企画・運営する取り組み“あそび臨床おもしろクラブ”を行っており、治療キャンプはその活動のひとつです。大人があそびのモデルを示し一緒になって活動に取り組むことで、子どもたちが集団での活動に意欲を持ち、ルールを守ることや適切に集団行動できる力を身につけていきます。

今年度の治療キャンプは中学生を対象としました。1つめに、非日常の自然環境の中であそびを取り入れた健康的な活動を通して、達成感を味わうこと。2つめに、同年代の子どもたちとの集団活動を通して、対人関係のスキルを身につけること、この2つをねらいとし実施しました。

キャンプに行ったことがない子どももいるなかで、事前の集団活動は緊張感と不安が漂う中、始まりました。子どもたちは各自目標を持って参加しますが、最初はなかなか実力を発揮できず、グループ間での話し合いもままなりませんでした。



キャンプ活動では、様々な職員が子ども達にキャンプのイロハを伝えるための工夫をしています。進行係は、キャンプ場や山登りの写真を用いたスケジュール表を作り、視覚的にわかるように説明します。食事係も、包丁の使い方表や調理のレシピを用意し、実際にカレー作りを指導して本番に備えてもらいます。準備係は、テントやシュラフの使い方を実際に指導します。子ども係は子どもたちと一緒に活動し、各自目標を達成できるように励まし支援していきます。このような事前の集団活動を通して、子どもたちがそれぞれの目標に向かって取り組み、集団での協調性を身につけていきます。

キャンプ初日は登山から始まりました。グループのメンバー間で声を掛け合いながら、歩み続けました。余裕のある子、自分のことだけで精いっぱいの子、それぞれが力を出し切り登り切った後は疲労感とともに達成感があふれました。



キャンプ場に到着すると突然のゲリラ豪雨。急な変更が苦手な子どももいますが、自然の前では誰も文句を言わず、こんなこともあるさ、と皆が受け入れて雨天時のあそびプログラムに取り組んでいきました。その後、キャンプの醍醐味であるキャンプファイヤーに向けて、グループごとの発表練習の総仕上げをし、いよいよ本番へ。それぞれが持ち寄

ったアイデアを活用し、様々な衣装を身にまとって元気よく発表する姿は、一つ成長した姿が垣間見える瞬間です。終わった後にメンバー同士が、少し恥ずかしそうに談笑しあう姿が印象的でした。

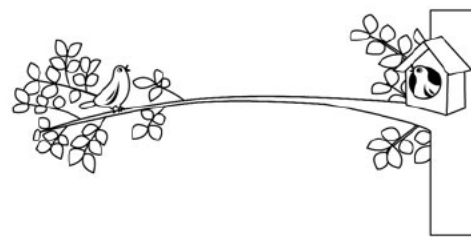
最終日あすなろ学園に到着すると、子どもたちがそれぞれの目標を達成できたことを話し合い、関わった全員の前で表彰式に臨みました。

おもしろクラブのキャンプはここで終わりですが、日常生活は続きます。今後はキャンプで取り組んだ目標の成果を、日常生活場面で活かしていくことが大切になります。これからも子ども達が新たな目標に向かって取り組めるように、日々の支援を続けていきたいと思ひます。



---

## 三重県に生まれ育つ すべての子どもに 途切れない支援を



子ども家庭局とあすなろ学園は、三重県に生まれ育つすべての子どもの発達保障・子育て支援を目指し、多くの市町と共働しながら、以下の3本柱で途切れない支援システムの構築を推進しています。

- ① 発達総合支援室（保健・福祉・教育の一元化室）・機能の設置
  - ② 「CLM（Check List in Mie）と個別の指導計画」による保育所・幼稚園での早期発見・支援  
※ CLMとは、子どもの育ちを見極め、適切な支援をおこなうためのツールです。
  - ③ みえ発達障がい児支援システムアドバイザーの育成支援
-

いまあなたが読んでいる、この“あすなろだより”をつくっています…

## 医療連携室の紹介をします！

医療連携室では、入院中や通院中、また心の問題で困っておられる子どもさんやご家族などに対し、福祉的・心理的な面から相談、支援をおこなっています。

具体的には、入退院に関すること、入院児・外来通院児（及びその家族）への支援、子どものこころに関する悩みと発達に関する電話相談、心理療法・心理テスト、広報・啓発活動、地域・社会との連携などを、精神保健福祉士、保健師、心理士、指導員、相談員などの多職種の職員でおこなっています。

### ① 入退院に関すること

入退院手続きについての事務、入院前の説明、見学の案内など

### ② 入院児・外来通院児（及びその家族）への支援

児童相談所・市町子ども支援室・教育委員会等との連絡調整、関係者会議の開催、入院児の預り金の管理、あすなろ分校との連携、予診、家庭や学校への訪問など

### ③ 電話相談

子どものこころに関する悩みと発達に関する相談、月曜から金曜の9時～17時（12時～13時は除く）※土・日・祝日、年末年始はお休みです

### ④ 心理療法・心理テスト

外来通院児・入院児への心理検査及び心理療法、心理アセスメントおよび助言、病棟での心理教育など

### ⑤ 広報・啓発活動、地域・社会との連携

講演会・シンポジウムの開催、事業報告やあすなろだよりの発行、学園内の見学・研修・実習、全国児童青年精神科医療施設協議会、家庭裁判所・警察・人権センター等との連携など

平成25年7月25日に、神戸大学准教授の田中究先生をお迎えし、「子どもを守り育てること～児童精神科医療から～」というテーマで講演会を開催しました。

////////////////////////////////////

### 📣 お知らせ

平成26年度講演会は、7月31日（木）午後、三重県総合文化センター文化会館中ホールにて実施予定です。





## おくすりのはなし <初級編>

みなさん気になる“おくすり”のはなし。

今回は、ごく基本的なおくすりの“飲み方”についてお話しします。

### 内服薬の正しい飲み方

説明書をよく読み、指示どおりに使用しましょう。

飲み薬は、水分制限が無い限り、十分な量（コップ1ばい程度：約200ml）の水または白湯で飲みます。水の量が少ないと、食道にくっついて、潰瘍ができたり、胃の中で溶けにくかったりします。

また、牛乳やジュース、コーラ、お茶等で薬を飲むと、効果が無くなったり、効果が強く出ることありますので注意しましょう。

### 服用のタイミングと薬の種類

食前

食事の30分くらい前  
糖尿病の薬、吐気止め（制吐剤）  
抗潰瘍薬

食後

食後の30分くらいまで  
風邪薬、解熱鎮痛薬、胃腸薬（消化作用）  
通常の向精神薬

食間

食後2、3時間後  
胃腸薬（胃粘膜修復薬）、胃や腸の運動を抑える作用をもつ薬（抗コリン作用薬）  
漢方薬（空腹時のほうが吸収がよいとされ、原則すべて「食前・食間」の服用とされています）

寝る前

就寝30分くらい前  
便秘薬、睡眠薬（興奮作用をもつカフェインを含む緑茶等で飲むと効果が減弱する場合があります）

※次回以降、数回シリーズで、あすなろ学園で処方されるお薬についてお伝えしていきます。

## 外来診療のご案内

（平成25年11月1日現在）

\*診察は完全予約制です。

都合により変更になる場合もあります。

●診察予約電話番号 **059-234-9700**

（受付時間 9:00~12:00  
（月~金） 13:00~16:30）

曜日	月	火	水	木	金
1 診	中島	西田	西田	大橋	大槻
2 診	柿元	中西	石田	中西	笹岡
3 診			大槻		
4 診	笹岡	中島	中野	柿元	中野